

審議会等名	令和7年度第2回図書館協議会
公開の別	全部公開
開催日時	令和8年3月27日（火）午後1時30分～
開催場所	三条市立図書館本館 ひめさゆり会議室
傍聴者の有無	1名
出席者氏名	<p>【協議会委員】</p> <p>倉品委員長 若月副委員長</p> <p>榎本委員 植木委員 捧委員 五十嵐委員 小林委員</p> <p>塩森委員</p> <p>【説明のための職員】</p> <p>（生涯学習課）</p> <p>小林課長 泉田係長 大橋主任</p> <p>（指定管理者）</p> <p>岡館長 近藤副館長 加藤総務責任者 夏目三条営業所長</p> <p>峯村三条営業所員</p>
報告	<p>(1) 令和7年度蔵書点検の結果について</p> <p>(2) 中学校との連携企画について</p> <p>(3) 令和7年度利用者アンケート結果について</p> <p>(4) 読書会への対応について</p>
議題	(1) 令和8年度図書館運営業務計画について
岡館長	定刻となりましたので、令和7年度第2回図書館協議会を始めさせていただきます。本日の閉会は、14時40分を予定しております。本日は、年度末のお忙しい中、日程調整をしてくださりご出席

	<p>いただき誠にありがとうございます。今年度も締めくくりの協議会となります。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは開会にあたり生涯学習課長の小林課長からご挨拶を頂戴したいと思います。小林課長よろしく願いいたします。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>みなさんこんにちは。年度末の中、お集まりいただき大変ありがとうございます。それでは令和7年度の第2回図書館協議会にあたり一つ御挨拶させていただきます。図書館含む「まちやま」については、平日休日また昼夜を問わず本当に多くの方々からご利用いただきまして、令和4年7月の開館から約3年半、昨年12月21日には来館者が200万人を超えるという、近隣の公共施設ではなかなかないような来館者となり、地元新聞はじめ関係諸所の注目を集めているところでございます。これも地域の皆様から愛着を持ってご利用いただいている証であります。</p> <p>また、令和7年度、図書館、歴史民俗産業資料館及び諸橋轍次漢学の里の指定管理者の公募を行い、令和8年4月からの5年間すなわち令和13年3月まで、現在の指定管理者であるツクール・ド・さんじょう様から継続して管理運営を担っていただくこととして議決を得たところでございます。これもこれまでの活動が評価されたものと我々はとらえております。私どもも指定管理者と共に皆様から愛着を持ってこの図書館まちやまをご利用いただけるよう取り組んでまいりますので、どうかいろんな複眼的な目で御指導御鞭撻賜ればと思います。</p> <p>以上で私からの挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願い申し上げます。</p>

岡館長	ありがとうございました。それでは議事進行につきましては、委員長よりお願いいたします。
倉品委員長	わかりました。皆さんこんにちは。とっても気持ち良い空が広がっています。こんな下での会議なんていいのかなと思いましたけれど、審議がありますのでその覚悟を持っていただきたいと思います。タイムスケジュール表が配布されておりますが4番までの報告事項について、簡潔にお話しいただき質問等あればお願いしたいと思います。5番が議題ということで令和8年度計画について、40分ありますが、これが中心になると思いますので日頃のお考えのことがありましたらご意見を頂戴したいと思います。先ほど館長さんからお話がありましたが、今日の欠席はお一人ということで、最近にない出席率と思います。今日はこのメンバーで議事進行を進めていきたいと思います。よろしくお願いいたします。では報告事項の1番からお願いいたします。
岡館長	報告させていただきます。初めに令和8年度蔵書点検の結果についてです。令和7年11月28日から12月7日まで本館、分館、分室について蔵書点検を実施いたしました。
倉品委員長	ちよっとごめんなさい。資料を確認していますが、タイトルとかページはありますか。皆さん資料は大丈夫でしょうか。
岡館長	それでは、手元の資料1をご覧ください。令和7年11月28日から12月7日まで本館、分館、分室について蔵書点検を実施いたしました。この期間には蔵書点検以外に中2階に児童向けお便りコーナーの新設、3階のがん情報コーナー、オレンジライブラリコーナーの充実。それに窮屈になっていた棚の整理、書架見出しの追

加、ボランティアと共に書架の清掃も行いました。不明冊数は年々減少しており、初回不明冊数は前回の 73 冊から 45 冊に減っています。また新たに不明となった地域資料はありませんでした。これらは IC タグ管理の効果によるものと考えております。一方、不明資料の中には貸出手続きをせずに持ち出されたいわゆる貸し出し漏れが毎年含まれており、蔵書点検後に返却される場合もあります。IC ゲートのアラームが誤作動する場合もあり貸出漏れを完全に防ぐことは難しいと考えていますが、引き続き職員による声掛けや持ち物確認により、不正な持ち出しを防ぐ努力をおこなってまいります。

続きまして資料の中学校との連携企画について報告いたします。図書館では学校との連携を図るため第三中学校と二つの連携企画をおこないました。定期的に図書館で実施している特集展示コーナーを第三中学校図書室に出張展示したもので、この際第三中学校図書委員会に協力いただき、全生徒に向けてのアンケートで読みたいテーマを募集しました。集まったおよそ 150 の回答から 50 のテーマに厳選し、図書館職員がテーマに合う本を選書しました。読書週間でもありブックカバーで表紙が見えないブランドブックの状態でもありテーマを記載したタグを付けて展示しました。テーマで選ぶことで新たな出会いを楽しんでもらうことを目的としました。およそ 350 冊が貸し出され、補充が必要なほどの反響でした。展示や企画自体について来場者から好意的なご意見をいただきました。いずれのご意見も今後、開催を希望する内容でしたので、次年度以降継続して実施を検討してまいります。また、まちやまで実

施したティーンズ向けの特集展示について、第三中学校図書室で出張展示を行いました。こちらは図書館の蔵書と展示の飾りつけを搬入し、そのまま利用しました。特集テーマは若者に人気の「MBTI診断で自分にピッタリの本を見つけよう」です。図書館職員がタイプ別におすすめの本を選定し、ポップや看板等図書館で展示したものを貸し出しました。展示作業は図書館職員が10月20日、月曜休館日に学校へ訪問し、第三中学校の図書委員と一緒に行いました。先ほどのMBTIとは「マイナースブリックスタイプ」で、これは性格を16タイプに分け分析する心理学ベースの性格診断ツールです。次に資料3、令和7年度利用者アンケート結果についての報告です。今年度も回収率を考え、前年度同様にインターネット環境を取り入れるほか、カウンター利用者に手渡しによるアンケートの配布を行いました。また貸出件数や貸出期間について前年度を上回る結果が出ています。また返却スポットの評価も前年を上回っていることから、貸出についての評価につながっていると思われまます。電子図書につきましても、前年同様の評価をいただきました。館内表示も前年を上回る評価をいただき、表示内容の見直しや表示を増やしたことが利用者に十分認識された結果であると考えています。職員の対応についても、前年を上回る高評価が出ており全体の満足度も好評価となっています。これらの結果は、日常の積み重ねの結果が評価をいただけたものと考えておりますが、これに甘んずることなく、さらに利用者に寄り添うよう努めてまいります。次に資料4をお願いします。令和8年度の申し込みは、現行の14団体から活動申請がありました。現在まで例会を行わず、

	<p>会議室の使用をキャンセルした団体、または、例会を少人数で開催している団体については、引き続き活動の実施をお願いしてまいります。改善されない場合は、年度途中でも会議室の予約を取り消す等の対応を検討し、適切な読書会活動及び会議室の利用となるよう努めてまいります。</p> <p>以上、1から4までを一括で報告いたしました。</p>
倉品委員長	<p>ありがとうございました。では一つずつ検討したいと思います。</p> <p>蔵書点検について質問をどうぞ。</p>
若月副委員長	<p>前にも事例があり気にしていましたが、ゲートをすり抜けてしまうような技術的な何かがあるのか。業者の方は、何かいわれていますか。</p>
岡館長	<p>IC ゲートのアラームが誤作動する場合があります。アラームが鳴った時には直ちに確認にまいります。ただし利用者への対応を行っている場合、直ぐに駆けつけられない場合もあります。その時すり抜けてしまう可能性も考えらなくもないです。そのようなことがないようにカウンターの職員を2名体制にしていますが、常時張り付いているわけではありませんので、そういった可能性はあるかもしれません。以上です。</p>
若月副委員長	<p>不明となる図書に傾向などがあれば個別に対処できるような気がしました。やって見られたらよろしいかなと思います。</p>
近藤副館長	<p>傾向ですが、いまのところ特別にそこだけが抜かれるようなことはあまりないようです。</p>
倉品委員長	<p>はい、わかりました。では次へいきたいと思います。中学校との連携についてどうでしょうか</p>

若月副委員長	<p>学校の連携について考えたことがあったのですが、大学もできて学習室等受験の関係もあり、いろんな方がご利用されています。昔は、受験対策等の資料は、あまり置かれていなかったようです。</p> <p>私も孫が受験で実際、高校入試問題を解いてみました。それをみると確実に本を読んで親しみを持っていないと明暗は分かります。</p> <p>やはり傾向と対策、読解力があっても日頃から本を読んでいなければならぬと感じました。そのような状況からも中高生に対して図書館の存在意義は大きいと感じました。感想を含めて話しました。</p>
倉品委員長	<p>ありがとうございました。次にアンケート結果について。</p>
小林委員	<p>小林です。参加させていただいておりますが、すごく素人ですけど、発言させていただきます。お願いになりますが、資料を斜め読みしましたが、できれば事前に送付いただければありがたいです。お願いします。三条市の図書館は、たくさん活動されており安心しました。次に MBTI など知らない世界があり大変だなと思いました。感想ですが、学校でも傾向があるのですが、子供たちの心の中のある部分にのみスイッチした本しかないなと感じました。私の好きな図書館は、元豊栄の図書館（新潟市豊栄図書館）です。設計者と司書さんがその目的を理解されていて、行くと考えたことのない本にも出会わせてくれる。（まちやまは、）エモーショナルの部分がちょっと足りない……。それらがアンケート結果なのではないかな。</p> <p>次にホームページですが、個人的に知っている甲府（山梨県）の図書館と何が違うかを考えると書棚の数が違うんですね。まちやま</p>

	<p>は、イベント、企画、建物は素晴らしいですが、比較的書棚が少ないように感じます。図書館には、例えば子供たちが誘導されるような本との出会いを引き出して欲しいと思います。</p> <p>そういった内容について、このような場で協議していくことができればありがたいと思います。感想でした。</p>
<p>岡館長</p>	<p>そのことについては司書も頭を悩ませているところです。例えばミニ企画展も各階に展示しています。本との出会いに関しても児童書だけでなく一般書も表紙をお見せし入れ替えをしながら興味を持ってもらえるように司書も頑張っております。今回いただきましたご意見を参考にしながら司書に伝え、利用者の方々がより良く使えるような施設となるよう、努めたいと思っております。ご意見ありがとうございます。</p>
<p>五十嵐委員</p>	<p>小林さんの御意見に付言させていただきたいと思います。古い図書館を知っている方からすると、新しい図書館はちょっと本棚の配置が複雑かなと思います。レイアウトの関係もありますが、縦列と横列の関係が、非常に探しにくい。例えばこの小説の続きはどこにあるか等について説明を聞いても良くわからないことがあります。できましたら2階の文庫本の上にある大きな柱に配置一覧を作っていただきたいと思います。ある方からは、本があることはわかるんだけど探しにくいので全て予約本にしているとも聞きます。予約コーナーでの処理も職員の方は大変だと思いますので、大きくて目立つ配置図を書架の横に作っていただけると一目でわかります。新しく素晴らしい図書館で職員の方も素晴らしいですので、探しやすくするために籠の中に配置図のようなものを置い</p>

	でも良いです。
倉品委員長	うなずいていらっしゃると思いますので、皆さん何かお話しできることがあれば。
捧委員	アンケート利用のところで年齢とありますが、これは回答した人ではなく利用した年齢ですね。それと令和8年になってから年齢が高齢化しているが、これは何か理由があるのか。7年度は、40, 50代が多いのに、8年度は60, 70代が多い。これらは何か明確な理由があるかなと思ひまして。
倉品委員長	二つありますが、最初のほうからいきますか。
岡館長	先ずは配置図についてですが、各カウンター、検索機のところに置いてあるのですが、それでも小さいですから、司書の案内で分かりにくい場合は、Wi-Fiで行います。それらについては、御意見を参考にさせていただきます。2点目のアンケート結果についてですが、高齢者ワーキンググループに参加した時、三条市だけではないと思いますが、高齢者はお時間があり、朝から並ばれて新聞だけではなく本も読んでいらっしゃることに驚き、感銘を受けました。高齢の方が増えている中で、このようなちょっとしたことから、三条の方々、皆さん勉強されていると感じました。
倉品委員長	はい、皆さん賛同でよろしいでしょうか。
五十嵐委員	掲示については、一枚模造紙など簡単なもので良いので一目瞭然でわかると思います。もう一つ捧委員のお話しされた年配の方の御利用の多さについては、三条市は、昭和30年代から図書館を一生懸命頑張って読書活動もやってきた。それらの方々、また使ってみようかなということではないでしょうか。

近藤副館長	アンケート回答は、Web からも可能なことから、それらも年齢別回答結果に影響した可能性があるかと思われます。
倉品委員長	ありがとうございました。では次に移ります。では5番の議題に移ります。これがメインですが宜しくお願い致します。
岡館長	<p>それでは資料5を御覧ください。令和8年度図書館運営業務計画について御報告いたします。</p> <p>基本方針1、市民一人一人が生きがいをもって学び合う生涯学習の機会や場を提供し、自立した豊かな人間形成を支援する。</p> <p>基本方針の2、優れた芸術文化や郷土の歴史にふれる機会を充実し、文化の振興を図るとともに、市民のふるさとを愛する心をはぐくむ。</p> <p>基本方針の3、読書を通じて、市民や地域住民の課題解決力を醸成し「選ばれて次代まで住み継がれるまち」づくりを支援する。</p> <p>基本方針の4、「まちやま」を通じて地域を活性化させにぎわいを創出する事業展開を行う。</p> <p>基本方針の5、市民活動の誘致を図り活動支援をもって市民活動の活性化を推進する。こちらは、新たな基本方針になります。</p> <p>次に重点として、(1)「三条市子ども読書活動推進計画」に則った事業の展開。</p> <p>(2) 図書ボランティアの養成と協働。</p> <p>(3) 障がい者向けサービスの展開。</p> <p>(4) しかけ絵本の活用及びPR。</p> <p>(5) 「まちなかのにぎわいの創出」事業。</p> <p>(6) 職員のスキル向上と図書館サービスの検証。</p>

(7) 電子図書館の利用促進。

(8) 図書館サービスの利用率向上、ボランティア活動の支援。

こちらが新しい重点項目です。

3事業計画の(1)子どもの読書活動推進事業。

その①家庭・地域における読書活動の支援。

「さんじょう親子読書の日」のアピール。本館、分館にて毎月23日の「さんじょう親子の日」をアピールし、本館でおはなし会を行う。ブックスタート事業(毎月1回)10か月健康相談会の会場で、一人ひとりに絵本の内容を伝えて手渡しし、赤ちゃんの時期から本に親しんでもらう働きかけを推進する。おはなし会、子を持つ親向け読書支援講座の開催。毎月や季節ごとのおはなし会、読み聞かせや語りの講座などを、ボランティアと協働しながら開催していく。②学校などにおける読書活動支援。学校・保育所・その他の施設などへ出かけ、読書活動や図書館利用者普及に努める。ブックトークなどの学校訪問・図書館見学の働きかけ。「おはなしの出前」サービス。学校図書館教職員対象研修の実施など。

(2)ボランティアの養成と協働。施設や読み聞かせ等のボランティアを養成するとともに、その活動の場を設け、支援する。

① ボランティア養成講座の開催。図書館施設ボランティア講座。読み聞かせボランティア講座。ブックスタートボランティア講座。音声訳ボランティア講座。これは新規です。

② ボランティア活動の実施。書架整理、除籍・修理作業等による図書館支援。おはなし会などボランティア主催行事の開催。おはなしの出前、朗読サービスなどの実施。ブックスタート事

	<p>業における協働。環境美化活動の実施。</p> <p>③ 図書館におけるボランティア行事の開催。おはなしの出前・朗読サービスの実施、ご要望に応じて随時実施。ボランティアグループ定例会。</p> <p>④ ハッピーボランティアとの連携。書架整理、蔵書点検時の書架清掃等。</p> <p>(3) 障がい者、高齢者サービスの充実</p> <p>① 大活字本の購入、②読書会、ボランティアによる音声訳資料「声の図書館」製作の支援、貸出、③読書会、ボランティアによる布絵本製作の支援、貸出、障がい者施設などでの読み聞かせサービスの実施。</p> <p>(4) しかけ絵本の活用及び PR。ワークショップの開催、しかけ絵本蔵書数日本一のポスター掲示および本館・下田分館でのしかけ絵本コーナー設置による PR.</p> <p>(5) 「まちなかのにぎわいの創出」事業</p> <p>① 三条の催時に合わせたイベントを通じて、地域とまちやまの連携を深める。</p> <p>② 近隣住民と一体となったイベントを通じて、地域とまちやまの連携を深める。</p> <p>③ 図書館サービスの利用率向上（まちやま本棚）</p> <p>(6) 職員のスキル向上と図書館サービスの検証。</p> <p>① 年度方針に沿った職員スタッフの接遇研修等、年10回程度。</p> <p>② 地域特性及び三条市方針に基づいた図書館サービスの構築と提供。</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

③ 他自治体の図書館見学を行い、三条市立図書館への採長補短をはかる。

④ 定期的な資料収集方針の見直しを行い、時世や需要に則った魅力的な蔵書構成を目指す。

⑤ レファレンスサービス品質向上による、生涯学習の支援。これは新たなものです。

(7) 電子図書館の利用拡大

① 定期的な図書館での説明登録会の開催

② 中小学校導入に伴うサポート体制の構築

③ ホームページ、SNS 等での広報活動の継続

④ 電子図書館利用読者層にマッチした選書とコンテンツ確保

⑤ 市内の病院の入院患者及び職員へのサービス提供

⑥ 福祉施設へのサービス提供

⑦ まちやまでの電子図書館体験スペースの設置

⑧ まちやま道具箱の協賛企業従事者へのサービス提供

項目4、(1) 視聴覚サービス。(2), 広報・公聴活動。

・ホームページ・SNS 他、各種広報媒体の活用に努める。

・図書館だよりの発行。こちらは新しい活動になります。図書館独自の広報活誌を発行し、SNS を使わない方へも新着資料やイベント情報をPRする。

・子ども向け広報誌などの発行。学校用タブレットを介して小・中学校への図書館情報を提供し、図書館利用と読書・調べ学習の促進に努める。これは新規と継続事業が組んでおります。

・幼稚園・保育園向け「図書イベント案内」の実施。

- ・市内の幼稚園・保育所に「図書館からのお知らせ」を配布する。
- ・ボランティアの後方支援。
- ・まちやま新聞の発行、年四回。

(3) 自動車文庫の運行は、運行状況を踏まえて1か所を終了し新しく「さわやか苑」を運行先として追加しました。

(4) 読書会活動の支援、これについては、図書館利用につながる様々なテーマの読書会の活動を支援します。読書会一覧は、令和8年2月1日現在の状況となりますが、先ほどの報告事項でもお伝えした通り、来年度も適切な読書活動及び会議室の利用となるように努めてまいります。

(5) オリジナルグッズの販売は、現在でも行っておりますが来年度も引き続き販売等をおこなってまいります。

(6) 市内各事業所との連携

・まちやま道具箱、市内事業所より地場産業品を提供いただき、図書館利用者カードで貸し出しすることで、市民及び市外の利用者に地場産業品を知る機会を提供する。また、まちやまトーク箱の使い方を主体としたものづくりワークショップも引き続き開催いたします。

・ヤマト運輸の6営業所での返却スポット設置、三条市2か所、燕市2か所、加茂市1か所、見附市1か所の返却スポット設置することで遠方からの来館、利用促進を図ります。

・郵便局での返却スポット設置、三条市内の郵便局での返却スポット設置に向け、関係各所との交渉を進め、実現をめざします。

以上、次年度の運営事業計画となります。

倉品委員長	はい、大変膨大なお話でびっくりですけれども進めていきたと思います。基本方針と重点この2点についてご意見ありましたらお願いします。
小林委員	はい、少し引っかかることがあります。基本方針4番目のまちやまと通じて地域を活性化させ賑わいを創出する……。それがまちなかの賑わい……。これらは図書館の性格上高まるのかなと思います。三条の図書館は、音が響き、書籍を読むにはちょっと使いにくいところがあるんです。つまりにぎわい創出と図書館の性格との関連はどう結びつくのか。質問としてお聞きします。
岡館長	まちやまを建設するにあたり、この施設が情報発信の基地としてより多くの人たちが交流し、まちなかの賑わいを創出することを目的としており、図書館としての機能だけではなく、様々な機能を兼ね備えた図書館複合施設となっております。 1階から3階まで吹き抜けになっている関係上、1階のにぎわいのフロアの音が完全に塞がれるわけではありませんが、階上に進むにつれて少しずつ音がなくなり、2階は幅広い世代が学ぶフロア、3階は静かな読書と学習のフロアという位置づけになっています。これらの事をご理解いただきたいと思っております。
倉品委員長	小林さんどうでしょう。
小林委員	いや、単純にどういう風になっているのかと思い、お聞きしました。
倉品委員長	よろしいでしょうかね。次に事業計画にいきましょう。
若月副委員長	一言ご報告です。事業計画の件で、確か社会教育審議会でしたか。その中の説明でも行事で人を呼ぶことに苦心なさっている。とり

	<p>わけ私に関心をもったのが、豊臣兄弟の先日の講演や展示、地中海ギリシャの古代遺跡の展示等、独自の考え方で企画でした。多くのスタッフで独自の企画をどんどん出してもらいたいと思います。大変楽しみにしております。</p>
倉品委員長	<p>3番の事業計画を進めますが、ご意見ありましたらどうぞ。</p>
五十嵐委員	<p>(7)の電子図書館利用拡大のところなんですが、このアンケートで、電子図書館のコンテンツではどのような使い方をしているのか、例えば何年間の買い取りセットなのか、それとも一定のコンテンツ毎に買っていくのか。</p>
近藤副館長	<p>電子図書館は、通常の図書館とは違いまして大きく分けると1冊買うとずっと読めるものと、例えば閲覧できる回数が限られていて一定の期間しか読めない限定付きのコンテンツがあります。これらのバランスを取りながら購入するようにしています。限定付きのものは出版社と作者の関係もあります。人気のあるものは限定付きが多いですけど、ずっと読めるものは、利用がどんどん下がってしまうことが多いです。以上のような内容によって分けております。またすべての出版物が電子化されるのではなく、本当に一握りの電子書籍のなかから購入の有無を決めているため、魅力的なモノが少ないことは、図書館としては悩ましいところであります。</p>
五十嵐委員	<p>はい。すみません、新刊と同時に電子化される資料もありますが、海外書籍は、タイムラグもあってそのため市民の方もわからないと思うので、電子化の仕組みの説明があっても良いと思います。三条市ももう少し頑張ってくださいと思います。以上です。</p>

倉品委員長	電子図書はこれから大事になってくるでしょうね。皆さん7ページくらいまで目を通していただきまして気になることをどうぞ。
塩森委員	まちなかの賑わい創出事業についてです。各種ワークショップと書いてありますが、実際それをするときには相談させてもらっていますが、例えば子供たちを対象にする事業があると図書館としての学びがないとできない、となっているんですね。一応に様々なプレーヤーと共同でコミュニティを創出するとなってはいますが、実際は固定したメンバーになっているように感じています。そういう縛りがあるのは、仕方ないとは思いますが、やはりコミュニティの創出を考えると、いろいろやりたい方々がいると思いますので、例えばワークショップをやるためのワークショップのようなものがあるとトライしやすいと感じます。個人的な話となりましたが。以上です。
倉品委員長	見通しを立てるためにも考えていただきたい。 アンケートは今の状況、皆さんの声を拾うために行うものであり、そこから見えてきた事について、じゃあそれを踏まえてどうしようかというところまで行くことが必要。総括の部分に、そういう内容について触れてあると良い。 切実な話ですが。館長さんいかがですか。
岡館長	たくさんの方々からワークショップをご利用いただいております、多くの方から参加して欲しいです。事業でのにぎわい創出については、図書館複合施設ということですので図書館とワークショップやイベントが相互に関連してくる点をご理解いただきたいと思います。

倉品委員長	ありがとうございました。時間も1時間ほど経ちました。以上のところで参加委員の皆様から、是非一言お願いしたいところであります。
皆川委員	冬になると駐車場がなく、隣の鍛冶道場もなくて困っています。
倉品委員長	私も冬に経験しました。鍛冶道場さんとは別なんですね。一緒に除雪しないのですか。非効率ですね。
岡館長	これは致し方ないところもあります。駐車場はそれでも広めにとつてはいますが、雪に関しては、降雪時には、消雪パイプの届かないところは、除雪機そして手作業でもおこなっています。周りは、住宅街に囲まれている施設ですので思うようにはいかないのが現状です。イベントのあるときには、近くの三之町病院さんやほかのところを借りるようにしています。利用者については、当日になってみなければわからないといった状況もありますので、ご理解をいただきたいと思います。
生涯学習課長	これらについては、図書館の管理というよりは、市の考え方とっております。御指摘については、十分把握しております。三条中央公民館がありますが、ここでイベントがあると重ね利用するんですが、やはり収容台数が限られるということは致し方ないことであると思いますが、このような意見があることを踏まえてどのような方法があるのか、今後の検討課題とさせていただきます。
皆川委員	ありがとうございました。
若月副委員長	冬場、猛暑の時、何度もありました。私もこれとってアイデアはないんですが、いろんな工夫をして利用していただけるようお願いします。

倉品委員長	はい、榎本さんお願いいたします。
榎本委員	私も小学校の職員として年度計画をみて、ブックトークや自動車文庫（移動図書館）があり嬉しいなと思いました。ちょっと残念なのが、学校図書館に司書さんがいないことです。それらを補うために市の図書館がいろんな工夫をしてくださっている。なるほどとわかりました。是非続けてもらいたいと思います。 参考までにわたしが勤務したのは佐渡市でした。
倉品委員長	佐渡ですか。あと皆さんよろしいでしょうか。
植木委員	ありがとうございました。小学校に勤務して、電子図書館のID利用を小学1年生全員に頂いているので、その時、使い方を教えていく必要を感じました。特に低学年には、図鑑や絵本があって好んで使っています。中、高学年となると調べ学習が始まって、使えるコンテンツ等を私から情報をお伝えできたらと思いました。7ページの子ども向け広報紙の発行については、学習用タブレットを介して図書館情報を提供するというのでしょうか。このタブレットは、一台一台の端末に、開いたときに三条市のホームページが出てくるのでしょうか。
倉品委員長	いやー。今日は聞けてラッキーですよ。
近藤副館長	ご認識の通りです。今後図書館のお知らせ掲載を検討しております。今しばらくお待ちください。
倉品委員長	もうすぐですよ。
若月副委員長	若月様よりメンバーに配布された、「町の書店の灯 守り踏ん張る人たち」（新聞切り取り）についてコメント、提言される。
倉品委員長	大変素晴らしい資料で早速家に帰って勉強したいと思います。あ

	<p>りがとうございました。すこし時間が超過しましたがこれにておしまいにします。ではお返しします。</p>
岡館長	<p>ありがとうございました。そして進行してくださいました委員長様。ありがとうございました。以上で令和7年度第2回図書館協議会を閉会いたします。委員の皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。</p>